



第23回例会

本日のプログラム

- 1. 松前丸就航に関して 成田勇司君
- 2. 函館のイカについて 野村宣一君

- ※ 司 会 遠藤 副会長 ※ 斉 唱 " それでこそロータリー、
- ※ ゲスト 俣野純夫君 市川芳夫君
- ※ ビジター 木島彦君 他6名 (函館R.C.)
本間定次郎君 他8名 (函館東R.C.)

※ 幹事報告

1. 例会事項変更

- (1) 富良野R.C. 11月19日より旧ビル3階を例会場に。
 - (2) 室蘭東R.C. 12月1日より例会場並に事務所を拓殖銀行に。
2. 俣野、市川、岩瀬三氏の入会手続が終了したので、次回より新会員として皆様へ御紹介出来ると思います。

※ スライドによる" 経営相談、提供 大田秀雄君

1. " ミツバチ戦術。(新しい商店経営)

ある家庭用電気器具店の記録である。この店は僅か10坪で年間3000万円の売上げがあつた。

坪当り年300万円とは素晴らしい販売能率である。その秘密は何か。スライドによつて我々は詳細を教えられた。折り込みチラシ(半分は受取人払の返信用葉書である)、見込客名簿、個別訪問、無料修理サービス、商品展示会、使用法説明会、奥様族の中からのリーダーの把握、信用調査、家族カードの作製から誕生日のお祝まで。成程と感心しました。

2. 銀行マン(常務)ゴルフ大会で大田会員が入賞されました。何時もながらのお腕前おめでとうございます。(銀賞)

※ 例会日変更通知

帯広R.C. 11月25日を11月22日に。

※ 杉崎郡作氏に対する新会長の祝辞

杉崎さんの功績を御紹介します。氏の歩んで来た人生は、我々ロータリアンの" 四つのテスト" にことごとく合致していると思います。

才一の" 真実かどうか" について、杉崎さんは決して嘘を言わぬ人です。氏の言行はすべて真実であると言つて差しつかえないと思います。才二の" みんなに公平か" についてもその通りです。誰に対しても同様に接して下さい。これは氏の人が自然にそうさせていると言つて良いでしょう。才三の" 好意と友情を深めるか" について、私は杉崎さんと色々な会に同席することがありますが、氏が居ると非常に明るい雰囲気を感じます。好意と友情のあらわれであると思います。才四の" みんなの為に成るか" については論ずるまでもありません。氏は民生委員道支部長であり、又全国民生委員理事でもあります。

杉崎さんのお仕事は容器の会社です。この仕事は国民の消費生活の上に重要なものであり、その仕事を誠心誠意やつておられます。社会的使命を感じておられるからであると思います。

今日民生委員は全国で13万余ありますが、その約20%は民生委員を身分上のアクセサリとしているに過ぎないと言われます。

杉崎さんは100%を真の民生委員にしたいと努力し、又なり得ると信じております。

杉崎さんは十数年以前に、社会事業に於いて藍綬褒章を受けておられ、最近更に全国で僅か3人と云う藍綬の副章もいただいております。この度の勲四等の叙勲は当然であります。

又杉崎さんは物事を極めて自然に考える人です。そのことはお仕事の以上に大いにプラスとなつています。社員の養育力も優れており、氏の社員に対する影響力は極めて大きいものがあります。

杉崎さんを我が北クラブのテレートリーに持つことは、我々の誇りであり、又たとえ氏がロータリー・フェロウでなくても(氏はお忙がしくて例会に出席す



通算才26号

1964~65-12-2

函館北ロータリークラブ

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

第24回例会

本日のプログラム

スライド "ロータリー会員の養成"

司会新会長 斉唱 "君が代" 手に手つないで

ビジター 伊部政次郎君 他6名 (函館R.C.)

島田敬君 他17名 (函館東R.C.)

会長報告

- 1, 当クラブの出席が非常に劣ります。努めてメーク・アップされたい。
- 2, 11月27日函館の3R.C.会長幹事の才1回会合を五島軒で行いました。会費及び入会金の値上げは再度討議することになりましたが、何れか一方が上がると思います。社会奉仕は三クラブ連合で行う方が好都合であるので、三クラブの社会奉仕委員長の会合を持つことになりました。又プログラム委員長、親睦委員長同士の会合を持つことも必要との決論が出ました。
- 3, 遠藤副会長より新入会員を御紹介します。

幹事報告

- 1, 例会終了後理事会を行います。
- 2, クリスマス家族会の打合わせを行いますので、プログラム、親睦及SAAの委員の方々はお残り下さい。
- 3, 例会事項変更 函館東R.C. 12月18日はクリスマス会合です。又12月29日の例会は28日に繰上げます。

ニコニコ箱

NHK 歳末助け合い運動にベンケイ綿KKより5万円の寄贈があり、その様子がテレビにのりました。おめでとう並に有難いを申し上げます。(金賞)

出席報告 (前回分)

会員数29名 当日出席20名 他ク出席2名 計22名 (75.86%)

競争の激しい現代では、店に来る客だけを待つては行けない。ミッパチが密を求めて探す様に、積極的にこちらから出掛けてゆく。これが商売繁昌の才一步ではなからうか。

2. "ボヤボヤしちやいられねえ (生産管理のA.B.C.)

ある小さな下請工場の、工場長の目を通してスライドが展開されて行つた。下請工場の生命は品質と納期である。彼の工場はその点で、親会社の評価はCクラスであつた。そこで当然工場管理が問題となつた。工場管理の理想は、動く人が楽に、而も良いものを安くつくるにある。又その相談役として商工指導所もあり、診断、指導を受けることが極めて有効である。

さて彼の工場でも彼個人の意志に反して工場管理の研究がなされた。彼は怪我を口実に工場を休んだ。「工場ではもう俺に用がなくなつた。然し熟練工上がりの俺がいなければりまくゆく筈がない。」と思ひながら。……

然し工場では、種々の困難を克服しながら、少しづつではあるが、工夫がなされ、改良が行われて行つた。社長自ら現場に立ち、工員の声を聞き、騒音防止や工員の疲労を除く工夫もされ、運搬車が入り、機械の配置も考え、機械も改良された。かくして品質も向上し、納期も確実になり、遂に3倍の能率を上げるに至つた。

すねてはみたものの、彼はやはり機械の虫であつた。工場長のつくつてくれたきつかけにより、彼は再び無中で機械と取組むことになつた。そこに彼が見たものは、生まれ変つた様な工場であつた。そして又、親工場では、あれ程立派なのに尚飽き足らず、まだまだ改良すべく努力していることを知つたのである。彼はつぶやいた。「ボヤボヤしちやいられねえ。」

スライド終了後遠藤副会長は述懐しました。「人間の頭は使う為にある。」

出席報告 (前回分)

会員数30名 当日出席19名 他ク出席2名 計21名 (70%)

次回 (12月9日) のプログラム

映画 題未定